

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

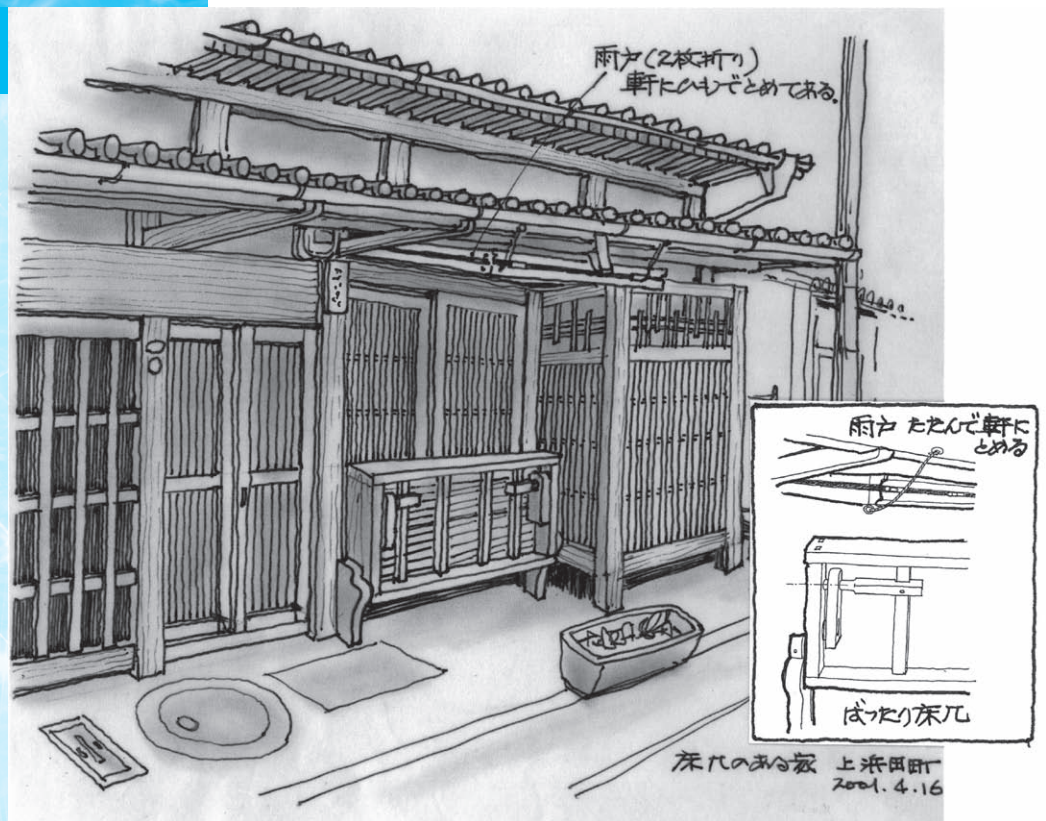
平成25年10月1日発行 通巻213号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・総務企画委員会
第33回近畿建築祭（大阪大会）
のご案内 2
- ・渉外事業委員会
平成25年度、第3期、第4期
一級、二級、木造建築士 定期講習の
おしらせ 4
- ・情報広報委員会
大津町家コラム
- ・情報広報委員会
第16回木造耐力壁
ジャパンカップ 総合優勝!! 5
- ・地区だより
甲賀地区 6
- ・10月の暦
- ・足のむくま 近江再発見 第13回



床几のある家 膳所（上浜田町）

イラスト中央部にある折り畳みの椅子が床几（しょうぎ）といい、夏の夕涼みで近所の人と談笑するのに使われていた。旧東海道でかつ、膳所藩の城下町であったことから往時の賑わいが容易に想像できる。上浜田町とは現在の津市本丸町を指し、また以前（昭和22年）は膳所本町という呼び名であった。（膳所本町の呼び名は京阪電気鉄道大津線の駅名として今も残っている。）自治会組織の中では今でも、この「浜田町」の町名は存在する。残念ながらこの風情ある建物は、今は無く青空駐車場となっている。

（最寄り駅：京阪電気鉄道 大津線 中ノ庄駅、膳所本町駅）

観光化する商店街!! 天神橋筋を歩く 第33回近畿建築祭（大阪大会）のご案内

第33回近畿建築祭（大阪大会）を下記のとおり開催いたします。

今回、大阪府建築士会では、日本一長い天神橋筋商店街を中心に、大人も子供も楽しめる、盛りだくさんの企画を考えました。

大阪商人の知恵とバイタリティあふれる天神橋筋商店街にぜひこの機会にお越しください。

近畿建築祭（大阪大会）に多数の皆様が集うことを心からお待ち申し上げます。

開催日：2013年12月7日(土)

会場：関西大学天六キャンパス309教室

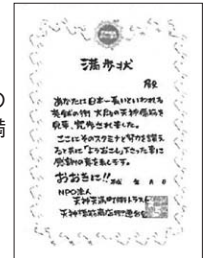
大阪市北区長柄西1丁目3番22号

阪急電鉄及び地下鉄堺筋線・谷町線

「天神橋筋六丁目」駅下車、北へ徒歩5分。



エキスカッションご参加の方には、お名前の入った満歩状をお渡しします



スケジュール：

9：00～10：00 受付

10：00～10：15 オープニング

扇町総合高校ブラ・マーチング（OHGIES）演奏（予定）

10：20～10：40 記念式典

・開催地会長挨拶 大阪府建築士会会長 岡本森廣

・協議会会長挨拶 京都府建築士会会長 衛藤照夫

・会旗引き継ぎ

・次期開催地会長挨拶 兵庫県建築士会会長 安田丑作

10：40～11：30 基調講演 天神橋筋商店街会長 土居年樹氏

テーマ「街が危ない、家庭が危ない、店が危ない」

—日本の街づくり、街活かしは誰がする—

11：30～ エキスカッション①②コース参加者は移動

11：45～12：30 講演会 関西大学准教授 橋寺知子氏

テーマ（仮）関西大学天六学舎（近代建築）の経緯

12：30～ エキスカッション③④⑤コース参加者は移動

17：00～17：30 閉会式 満歩状授与式 大阪天満宮境内

申込〆切：平成25年10月21日(月)必着

近畿建築祭申込用紙 ※各コース定員を超えますと他のコースに変更いただく場合があります。

地区名	お名前	携帯 TEL	エキスカッション (希望コースに○)
			①・②・③・④・⑤
			①・②・③・④・⑤
			①・②・③・④・⑤
			①・②・③・④・⑤

申込先 公益社団法人滋賀県建築士会 FAX077-523-1602

■ エクスカーションのご案内 (式典参加費含)

タイトル (★: 健脚度)	内 容	参加費 定員
①天満天神繁昌亭&街歩き ★★ 11:30~17:00 	上方落語の唯一定期寄席「繁昌亭」で大阪を楽しもう 建設費用は寄付金で賄った「繁昌亭」。募金をした人々の名前の提灯が天井に並べられています。大塩平八郎の史跡めぐり、他。	4,500円 (食事券付) 60人
②八軒家浜から電気船ツアー &街歩き ★★ 11:30~ 17:00 	世界初のリチウムイオン電気船で大阪を眺めよう!! 環境にやさしいオールアルミ、リチウムイオン電池の電気船で水都大阪の舟遊びを楽しみましょう。 八軒家浜から大阪城や東横堀川、道頓堀川を歴史や由来を聞きながらのクルーズ。 静かな川面から約一時間半、雑踏の大阪を眺めてみませんか!! 案内 伴一郎氏 (伴ピーアール株式会社)	5,500円 (食事券付) 38人
③ガイドと共に歩く街歩き ★★★★★ 13:30~ 17:00 	知恵とバイタリティも日本一! ガイドと行く天神橋筋商店街物語 日本一長い商店街が、どうして今まで賑わいを保っているのか?その理由は大阪商人の知恵とバイタリティにあります。今回は普段は気が付かない街の中に隠された知恵とバイタリティの物語を元気なガイドと一緒に発見していきます。大阪人も知らないディープな天神橋筋を楽しめます。 ガイド: 上田聖子氏 (トークスタジオ ハーモニービューロー代表ナレーター)	4,000円 (弁当付) 60人
④住まいのミュージアム& 街歩き ★★★★★ 13:10~17:00 	平成の天神橋筋商店街から、江戸の町並み、昭和の暮らしへタイムスリップ!! 平成をにぎわう天神橋筋商店街から、大阪暮らしの今昔館で、大坂の昔へタイムスリップ!! 昔の人の知恵や工夫を体感し、いまの住まいや暮らしを見つめなおしてみませんか? 講 演 明珍健二 花園大学文学部教授 (元住まいのミュージアム学芸員) テーマ 大坂の町の成り立ち その後、住まいのミュージアムに移動・見学 大工棟梁による古式大工道具の実演	3,500円 (弁当付) 100人
⑤スタンプラリー!! ★★★★★ 12:30~ 17:00 	大阪の肝!! こってこてスタンプラリー 天神橋筋商店街は日本で一番キョリが長い商店街。 ここが大阪の肝! キレイなもん、きちゃんないもん、静けさと賑やかさ、大阪のエエとこがギュッと詰まっています。 スタンプラリーで大阪のエッセンスを巡って楽しもう!!	3,500円 (食事券付) 50人

平成25年度、第3期、第4期 一級、二級、木造建築士 定期講習のおしらせ

平成20年11月28日に施行された新建築士法の規定により、建築士事務所に所属する一級建築士、二級建築士又は木造建築士の方は、3年毎に国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う、一級建築士定期講習、二級建築士定期講習又は木造建築士定期講習を受ける事が義務付けられています。

(なお、施行日以降に建築士試験に合格した方で建築士事務所に所属した建築士の方は、その合格日の属する年度の翌年度の開始の日から起算して3年以内に建築士定期講習を受講すればよいこととなります。)

登録講習機関 財団法人 建築技術教育普及センターの講習会を担当する公益社団法人 滋賀県建築士会の平成25年度第3期、第4期の建築士定期講習の日程をお知らせさせていただきます。

【講習日・講習会場について】

平成25年度 第3期

講習日：12月18日(水)

講習会場：ピアザ淡海

受付期間：平成25年9月1日～11月29日まで

平成25年度 第4期

講習日：3月19日(水)

講習会場：彦根会場

受付期間：未定

(但し両会場とも定員になり次第受付期間中であっても〆切ります。)

受講申込関係書類の配布・申込みにつきましては、

公益社団法人 滋賀県建築士会 〒520-0801

大津市におの浜1-1-18 滋賀県建設会館3階

TEL 077-522-1615

にお問合せ下さい。

受講手数料(テキスト代含む) 12,900円(消費税含む)

大津町家コラム

大津の中心市街地、いわゆる大津百町には、江戸時代末期から戦前までに建てられた伝統的な建築物である大津町家が多く残っています。東海道五十三次の宿場町でもあった大津は、距離だけではなく文化の嗜好性も京都に近いこともあり、大津町家は京町家の特徴を多く持っています。また、幕末の戦乱期、特に元治元年(1864)の禁門の変の後に、京都市中が大火に見舞われ、町家をはじめとする建物の多くが焼失しました。今残る京町家は、それ以降に建てられたものがほとんどですが、幸いにも大きな災害や戦乱に遭うことがなかった大津町家には、江戸末期の京町家の特徴が残っているとも言われており、とても貴重なものです。

但し、主要な通りは、昭和初期、滋賀県の道路拡幅事業に伴い、「軒切り」という建物の正面を削り取ってしまう改造工事が行われたため、江戸期の外観を持つ大津町家は少ないことも特徴のひとつですが、内部は建てられた当初の意匠が多く残っています。もうひとつ、興味深いことは、「軒切り」をする前に、県が「軒切り」前の写真を撮影して、各所有者に渡しています。写真はまだ庶民にとって貴重であったため、どの写真も当主や店の人、自慢できるものなどと一緒に記念撮影したものとなっています。京町通りのいくつかの家では、10月の大津祭の宵宮の日に、その当時の写真を表に掲示していますので、往時の大津町家の外観を楽しむことができます。

この2枚の写真の建物は、軒切りで正面のたたずまいは変わりましたが、今もまちなかに残っています。2軒とも旧東海道添いの建物です。



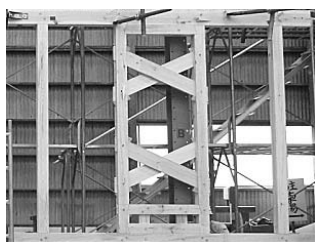
平成25年8月16～18日に静岡県富士宮市で開催された「第16回木造耐力壁ジャパンカップ」で滋賀職業能力開発短期大学校チームが総合優勝2連覇を達成しました。

この大会は、綱引きの要領で耐力壁どうしを引っ張り合わせるもので、18チーム（今年は16チーム参加）のトーナメント戦で進められます。耐力壁の性能は耐力壁の最大引張り強さと、最大変位量により評価しますが、総合優勝のためには強さと粘りに加えて、ビスも金物も使わずいかに重量を軽く、簡単に造ることができるかが評価のポイントとなります。また、総合優勝とトーナメント優勝のほかにも5つの部門賞に分けられます。

- | | |
|--------------|-------------------|
| (1) 総合優勝 | : 滋賀職業能力開発短期大学校 |
| (2) トーナメント優勝 | : 東大×LIXIL×キダテ |
| (3) 耐震部門 | : 東大×LIXIL×キダテ |
| (4) デザイン部門 | : 四国職業能力開発短期大学校 |
| (5) 加工・施工部門 | : 四国職業能力開発短期大学校 |
| (6) 環境部門 | : 四国職業能力開発短期大学校 |
| (7) 審査委特別賞 | : 東大×アキュラホーム×篠原商店 |



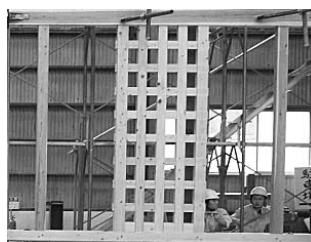
大戦後の破壊性状チェック



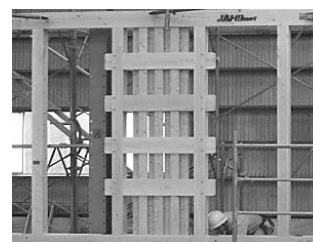
滋賀職業能力開発短期大学校



東大×LIXIL×キダテ



四国職業能力開発短期大学校



東大×アキュラホーム×篠原商店

第16回木造耐力壁ジャパンカップ (<http://be-do-see.com/tairyokuhekiJC/>)

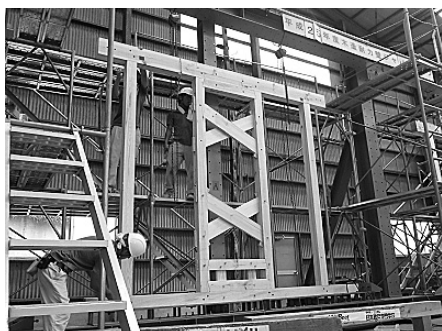
主催 NPO法人「木の建築フォーラム」木造耐力壁ジャパンカップ実行委員会

後援 財団法人 日本住宅・木材技術センター

滋賀職業能力開発短期大学校チームの耐力壁のコンセプトは「構造とデザインの一致」です。4本の傾斜貫が水平力に抵抗し、添え土台・桁と大床により柱の引抜き力に抵抗するシンプルな構造です。そしてこだわったPOINTがもう一つ、木材そのものの強さを引き出す工夫です。木材は通常、加熱により人工的に乾燥させられます。その過程で木材の繊維は熱割れを生じ、木材そのものの特性を失うと考えられています。その分、大きさも品質も一定な使いやすき木材が製材されますが、私たちは地松（赤松）の自然乾燥にこだわりました。狂いやすい木材に試行錯誤を繰り返しながら、学生たちは夏休みを返上して耐力壁の製作に取り組んでいました。



私たち4人は滋賀県出身の琵琶湖育ちです！滋賀県が日本一です！



滋賀職業能力開発短期大学校
(ポリテクカレッジ滋賀)

滋賀県近江八幡市古川町1414

TEL : 0748-31-2250

FAX : 0748-31-2273

担当：住居環境科 覚張
Kakubari.Ryota@jeed.or.jp

(覚張氏は滋賀県建築士会会員です。)

甲賀地区

湖南市甲西北中学校で職業講和を行いました

湖南市北中学校では2年生を対象に職業体験を毎年2学期に実施されています。

本年は177名の生徒が市内企業での体験をする予定で、職業体験の前に生徒たちに実際に働いている人から、仕事の話や職業を選んだきっかけ、仕事での喜び等の話を聞いて、体験に向けての心構えや職業選択のヒントを与えようと事前学習会が行われました。

本年は建築に興味を持った生徒が多いということで甲賀地区委員会に講師の依頼が有り、地元湖南市で古民家再生改修に頑張っておられます当会会員の中川清氏に職業講和をお引き受けいただきました。

中川氏からは自分がこの職業に就いた経緯や最初に就いた現場で学んだこと、仕事を通しての人との出会い、人に喜んでもらえる仕事を続けていくことが大切である事等を図面と写真を交えてお話いただきました。

177名の生徒は中川氏の話と古民家再生で蘇った民家の写真に魅入り、実際に社会で仕事をする事の大切さや夢を感じ取ってくれたようでした。



10月の暦

1	火	仏滅		12	土	仏滅		23	水	先負	
2	水	大安		13	日	大安	一級、木造建築士 製図試験	24	木	仏滅	
3	木	赤口	まちづくり委員会	14	月	赤口	体育の日	25	金	大安	
4	金	先勝		15	火	先勝		26	土	赤口	あーき塾(スピードスケッチ)
5	土	先負		16	水	友引		27	日	先勝	
6	日	仏滅		17	木	先負		28	月	友引	
7	月	大安		18	金	仏滅	全国大会(島根大会)	29	火	先負	
8	火	赤口	会員増強特別委員会	19	土	大安	全国大会(島根大会)	30	水	仏滅	
9	水	先勝		20	日	赤口		31	木	大安	
10	木	友引	四役会・理事会	21	月	先勝					
11	金	先負		22	火	友引					

足のむくまま 近江再発見 床几のある家 膳所(上浜田町)

筆者もかつてこの、上浜田町界隈に住んでおり、周辺の町並みなどから、「どこかにあるはず」と思い、今回の「床几のある家」の記事の担当を申し出た。ところが、そこに住む前にこの建物は取り壊されていたことが後に判明。この10年程で、昔からある古い街並みは、どんどん消えてしまっているのが実状のようである。そのうち「どこかにあるはず」の雰囲気もなくなるのではと思うと残念でならない。

最後に今回、取材にご協力頂いた大津市本丸町の奥村時計店店主 奥村氏には心からお礼を申し上げる次第である。

[写真提供：(有)フォトハウスアワズ 池田 八重氏

〒520-0836 大津市杉浦町7-11 TEL 077-537-3217]

上浜田町へ続く旧東海道の膳所のまちなみ

